

# 蓬萊の玉の枝 ― 「竹取物語」 ― から

一年 ) ( 組 ) ( 番 氏名 ) ( )

## インロの目標

「蓬萊の玉の枝」を、音読しよう。

1 インロの目的を聞き取り、人物像を整理しよう。また、その根拠を確認しよう。

- ※ インロの目的は「結婚した」。
- ・ 計画を立て、二年間をかけて準備をした。
- ・ 誠実なふるまひをするが、本当は「おしよめ」である。
- ・ 話のながれを「おしよめ」が「おんづ」に隠す。

2 音読の練習をしよう。

場面を想像しよう。

相手・・・翁やかへむ姫

目的・・・自分の話が、本当の話しであることを。

具体的な工夫

- ① 声の表情をつける。(感情を表現する読み方をやる。)
- 得意に「自分でいっしょに」をいって、おんづの本当の話しをいって
- ② 声の大きさ
- ③ 読みの速さ
- ④ 間の取り方

## 自分の音読の目標

(例) 間の取り方を工夫し、いかにも本当らしく聞こえるようにする。  
せりふも感情をこめて、ゆっくりと読む。

### 3 相互評価(1回目)

進め方

- ① 順番に一人ずつ自分の目標を言った後、音読の発表をする。残りの人は評価を書く。
- ② 全員が終われば、順番にそれぞれの人への評価コメントを読む。
- ③ 他の三人からもらった評価コメントを、それぞれメモする。

発表者の名前	音読の目標ポイント	評価コメント
		良かったこと・改善した方がよいこと (声の表情・声の大きさ・読む速さ・正確さ)
		改善 良
		改善 良
		改善 良

( ) 君・さくら ( ) 君・さくら ( ) 君・さくら

#### 1 回目の発表を終えて

友達のコメントを聞き、工夫しようと思うこと・また、友達の発表を聞いて自分の音読に生かそうと思うことや書こう。

4 相互評価をしよう。(4回)(4回)  
進め方は一回目と同じです。

発表者の名前	音読の目標ポイント	評価コメント 良かったこと・改善した方がよいこと (声の表情 声の大きさの 読び速の 正確の)
		良
		改善
		良
		改善
		良
		改善

( ) 君・みんが ( ) 君・みんが ( ) 君・みんが

5 今回の振り返り (自由評価) A 良い B  
ふじっ C 努力が必要 ( )

授業全体を振り返って思ったこと、  
友達の音読発表を聞いて思ったこと、  
自分が頑張ったことなどを書こう。

項目	評価
音読練習で意欲的に取り組んだか	A B C
工夫して音読発表に取り組んだか	A B C
グループの話合いに積極的に参加したか	A B C